

テクノウェットC・G・Wによるアスベスト除去工事仕様

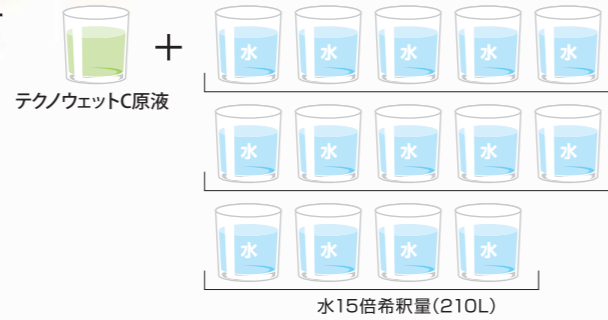
■テクノウェットC

(クリアータイプ)

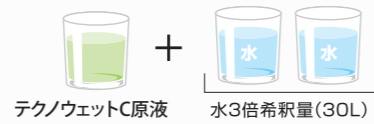
荷姿 / 角缶 NET 15kg

- 用途 / ①石綿除去時の湿潤化処理用
 水で15倍液に希釈して使用 (テクノウェットC:15kg 対 水:210kg)
 ②空中散布・養生シート面散布に使用
 水で15倍液に希釈して使用 (テクノウェットC:15kg 対 水:210kg)
 ③除去後の除去面の処理
 水で3倍液に希釈して使用 (テクノウェットC:15kg 対 水:30kg)

- 除去作業の湿潤化剤として
- 空中・養生シート面に散布



- 除去後の面に塗布処理



■テクノウェットG

(グレー着色タイプ)

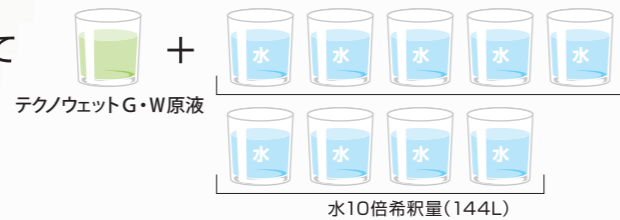
荷姿 / 角缶 NET 16kg

- 用途 / ①石綿除去時の湿潤化処理用
 水で10倍液に希釈して使用 (テクノウェットG・W:16kg 対 水:144kg)
 ②空中散布・養生シート面散布に使用
 水で2倍液に希釈して使用 (テクノウェットG・W:16kg 対 水:16kg)
 ③除去後の除去面の処理
 水8Lで希釈して使用 (テクノウェットG・W:16kg 対 水:8kg)

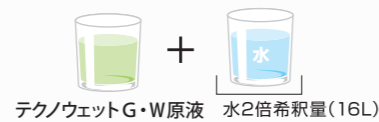
■テクノウェットW

(白着色タイプ)

- 除去作業の湿潤化剤として



- 空中・養生シート面に散布



- 除去後の面に塗布処理



ご使用に際しての注意事項

このカタログに記載の商品を取り扱う際は、容器に表示されている注意事項を守って下さい。詳細な内容が必要な場合には、施工仕様書、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。

製造元 / 菊水化学工業株式会社

本社 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
 TEL:052-300-2222(代)

※このカタログの内容は、予告無しに仕様や取り扱いを変更することがあります。 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合は、それを最優先して下さい。
 ※材料等の資料やアスベスト対策についての質問は、最寄の営業所にお問い合わせ下さい。

石綿飛散防止工法

テクノウェットC・G・W

石綿対策工事用粉じん飛散抑制兼飛散防止剤

アスベスト被害

アスベストは、その有害性が明らかとなり、大きな社会問題として、その対策が急務となっています。肺ガン、中皮腫等の病気を引き起こすアスベストは、安全を第一とする対策工事が不可欠です。

アスベスト被害は、空気中に飛散しているアスベストを吸入し、肺に蓄積されることによって起ると言われています。劣化等により飛散した石綿を吸入する事で健康に害を及ぼします。

建築資材として以下のように使用されています。

- 耐火被覆材** 柱・梁・壁など
- 保温材** 壁・ダクト・煙突等
- 結露防止材** 鉄骨・屋根裏・壁
- 吸音材** 壁面・天井
- 断熱材** 屋根裏・壁



▲アスベストの現場



▲顕微鏡写真

アスベストの飛散性区分

- レベル 1**
 - ・吹付けアスベスト(青石綿、茶石綿、白石綿等)
 - ・石綿0.1%超含有の吹付けロックウール

飛散性が高く、隔離養生、負圧化、湿潤化を行い、保護マスク・保護服の着用が必要。
- レベル 2**
 - ・石綿を0.1%超含有の比重の軽い軽量天井材
 - ・石綿を0.1%超含有の比重の軽い保温材

レベル1の物に準じて飛散性が高く、レベル1と同様の安全確保が必要。
- レベル 3**
 - ・石綿を0.1%超含有の石綿含有下地調整材等
 - ・石綿を0.1%超含有の石綿含有波型スレート板等

そのままでは飛散性が低いが、破碎・切断などを行う場合は、レベル1と同様の措置が必要。

アスベストに関連する法律

- ・石綿障害予防規則 …… 2005年7月1日に石綿予防規則が施行され、石綿の安全化対策が本格化しました。
- ・石綿則改正 …… 2006年9月1日に改正施行され、従来の1%から0.1%を超えて含有に対象が拡大されています。
- ・建築基準法改正 …… 2006年10月1日に法改正あり、増改築などで新たな規制が始まっています。
- ・厚生労働省通達 …… 2008年2月6日厚生労働省から通達があり、新たに3種のアスベストの調査が必要になりました。

テクノウェットC・G・W

有害な吹付け石綿、石綿含有吹付け材等を安全に除去

湿潤化 固化 面処理 一剤で三役

アスベスト除去工事に用いる薬剤、濃縮タイプ湿潤化剤、15kgNET/角缶入り(乾燥時透明)アスベスト層への浸透性と固化性が優れた水系材料で、ホルムアルデヒドは含有していません。

除去時の粉じん
飛散抑制剤として

テクノウェット
C・G・W

被膜形成で、
除去面処理に

浮遊石綿・シート
付着石綿固化に

アスベスト除去に、最適な薬剤

アスベストの飛散を防止するため、除去するアスベストを湿潤化し、粉じんの発生を少なくする必要があります。

テクノウェットC・G・Wは、一剤で三役の用途に使用できます!!

1. 飛散抑制剤として

テクノウェットCは原液1に対して水14の割合で、テクノウェットG・Wは原液1に対して水9の割合で希釈し、使用します。テクノウェットC・G・Wを浸透させ、アスベストを湿潤化し、除去中の粉塵を抑制します。

2. 浮遊粉塵固定に

テクノウェットCは原液1に対して水14の割合で、テクノウェットG・Wは原液1に対して水1の割合で希釈し、使用します。空中散布・シート面散布をして、アスベストを固めアスベストの再飛散を防ぎます。

3. 除去面の処理に

テクノウェットCは原液1に対して水2の割合で、テクノウェットG・Wは原液1に対して規定の割合で希釈し、使用します。除去後の表面処理剤として使用することができます。薬液の水分が蒸発しても、被膜を形成し、下地処理とすることができます。テクノウェットGはグレー被膜を、Wは白色被膜を形成するために、処理後が目視にて確認可能です。

Asbestos is removed.